

連載④
内海善雄の
(ITU前事務総局長)
やぶ睨み
「ネット社会」論

お粗末なのは猪瀬発言だけなのか？

問題の「ニューヨーク・タイムズ」の原文を
ネットで探して読んで、実に驚いた。

不可解な猪瀬知事の発言

まず、見出しが「東京を賞賛するため、招
致委員長が他候補地を貶す」である。訪米中
の知事を都知事としてインターネットに上
ちがいないが、「都知事」とはせず、わざわざ
「招致委員長」としているところに、その
意図が明白である。

記事は冒頭で、招致者が他の候補者を批判
することを禁ずるオリンピック規則を説明し、
知事の発言がいかにオリンピック規則に反し
て他の都市を貶しているかという説明に始
まっている。

知事の発言は、初めから終わりまで悪意に
満ちたトーンで紹介されている。例えば、若
者の多いトルコは次世代にオリンピックへの
熱意を醸成することができる点で有利である
という意見に対して、知事の反論として、論
旨不明確な発言が並び立てて紹介されてお
り、読者には発言の趣旨がよく分からない。そ
して、その後には、「日本女性の平均年齢は八
十五歳、日本がストレスのない社会の証明だ。

トルコ人が長生きしたければ、日本と同様の
文化を創れ。トルコには若者が多いかもしれ
ないが、早死にすれば意味はない」と発言し
たとされている。

知事は、本当に反論としてこのような一連
の支離滅裂な発言をしたのだろうか。どうも
いろいろなコンテクストで発言したものをつ
なぎ合わせているように見える。さらに、知
事が平均「寿命」と平均「年齢」とを誤って
話したとも思えない。たとえ誤って発言した
とすれば、インタビュアーは聞き直すすべ
きだろう。知事の教養レベルを貶めるための脚
色ではないかとさえ疑いたくなる。

猪瀬氏を知らぬ者が読むと、太平洋戦争中
に米国の新聞等に登場した、無知蒙昧で、他
文化や外国を蔑視する敵国日本人「ジャッ
プ」を髣髴とさせるのである。

執筆者のBob Bole氏はいつたい何者だろ
うかとネットを調べると、即座にプロフィール
が判明した。日本に長く滞在し、フリーラ
ンサーとして各紙に投稿し、二〇〇一年より
「ニューヨーク・タイムズ」の記者になって
いる。その経歴からも、ジャーナリスト・作
家の知事とは旧知の人物であることを想像さ

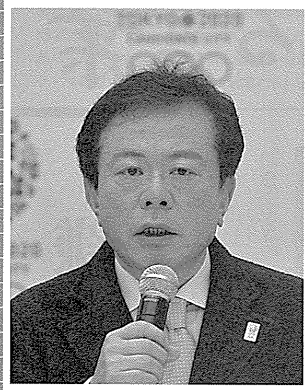
せる。

さらに、氏が、米国人に日米関係をより良
く理解してもらうために日本政府の寄付によ
って設立された「日米友好基金」の奨学金に
よってコロンビア大学で学んでいることも判
明した。

読売が「不可解」であるとした知事のツイ
ッター書き込みも、知事が何を言わんとした
か、およそ察することができず。知事が言い
訳をしたように、インターネット後の気を許
した私的な雑談で発言したことを引用したよ
うにみえる。

本音と建前が通る暖かい日本

どこの社会においても本音と建前が存在す
るが、国際社会では、ムラ社会の日本のよう
に両者を上手に使い分けはしてくれない。本
音は、よほど注意しないと発言してはならな
い。ましてや自由・平等・人権・独自の文化
というような事項に関しては、現実がどのよ



事は猪瀬知事一人に留まる問題ではない
(写真/PANA)

この事件は、「首相官邸も恐れるというN
Yタイムズ」(東京スポーツ・渡辺学氏)に
対して、知事の脇が甘かったということだけ
では済まされない。たまたま案件が東京オリ
ンピック招致だったので衆知の大問題と
なったが、日本人にありがちな国際常識
の欠如を露呈した同様のトラブルは、あ
ちこちで日常茶飯事に起きている。

筆者も、国際機関の長として絶えず苦
しめられたことは、信頼した相手に本音
を漏らして後で裏切られて言質とされる
ことであった。国際社会では善意はなか

求められる「したたか」

うなものであれ、表向きは絶対に尊重をしな
ければならないものである。

これらの価値の尊重はいわば錦の御旗であ
り、少しでも損なうと烙印を押されれば、そ
の日から逆賊となるのである。米国によるフ
セイン打倒のイラク侵攻をはじめ、最近の海
外ニュースには事例に事欠かない。

その中でもオリンピックは格別である。力
と力がぶつかり合う国際社会の中で、戦争を
中止しても競技に参加するという、現実から
乖離した理想主義の権化であるオリンピック
精神は、自由・人権というような錦の御旗以
上に錦の御旗である。どんな現実があろうと
も、発言には揚げ足を取られないような細心
の構えが必要である。



内海善雄(うつみ よしお)
1942年香川県高松市生まれ。東大(現
学部卒。東芝を経て66年郵政省(現
総務省)入省。電気通信の自由化(現
通信放送政策を長く担当。98年総
国際電気通信連合(ITU)事務総
局長就任。現在は財団法人「海外理
事長。

なか通じず、信頼関係はいつ何時でも破られ
るのである。

少しネット・サーフィンするだけで事の真
相に迫ることができ、知事に対する同情の気
持ちは湧いてくる。一方、日本のメディアが
プロとして取材し、真相を把握しているはず
なのに、鬼の首を取ったように知事批判をし
て騒ぐことには疑問を抱かざるをえない。東
京の大きな反応ぶりが海外に発信されたこと
により、「ニューヨーク・タイムズ」の小さな
記事にすぎなかったことが、知事の一大不祥
事として世界中に公認されてしまったのであ
る。それは、オリンピック招致合戦を不利に
しただけではない。日本人全体のイメージや
信用に大きな不利益を及ぼしているのである。
情報通信の発達は今に世の中を便利に
したが、一方、グローバル化を進展させた。
日本がグローバル社会の一員としてこれから
生き抜くためには、住みよい日本社会内のや
り方が通用しないことも自覚すべきである。
もつと「したたか」にならなければならぬ。